



ショートカットキーを使うことで作業の負担を減らすことができます。
ここでは、JASONにおける各ショートカットキーと、それを使ったマウス（カーソル）機能の「一時的」な切替えの仕方をご紹介します。

□ 各ショートカットキー

Windows®:



キー	機能
Del	消去
Ctrl + A	全選択
Ctrl + C	コピー
Ctrl + X	カット
Ctrl + V	ペースト
Ctrl + Z	Undo
Ctrl + S	保存

Macintosh®:



キー	機能
fn + ⌘	消去
Cmd + A	全選択
Cmd + C	コピー
Cmd + X	カット
Cmd + V	ペースト
Cmd + Z	Undo
Cmd + S	保存

アイコンの説明（コンテキストツール他）：

- 🔒：画面のロック及び十字カーソルの表示
- 📊：積分（手動）
- 📏：距離計測
- 🔍：ズーム
- ✂️：マルチプレット解析（手動）
- ✂️：スペクトルの（表示上の）切り取り
- 👉：画面の移動
- 👉：選択
- 📊：位相補正（手動）
- 📡：信号帰属
- 📡：全体表示
- 📊：ピークピック（手動）
- 📡：化学シフト補正



□ ショートカットキーを用いたカーソル機能の一時的切替え

ショートカットキーを**長押し**すると、その間だけカーソル機能が切り替わり、外すと元の機能を回復します。このことを使うと作業にちょっとした効率をもたらすことができます。

例えば、スペクトルの位相補正を行っている最中に、スペクトルの拡大が充分でないことに気付いたときなどです。そのようなときは、コンテキストツールバーのアイコンから、カーソル機能を一旦「ズーム」に移して、作業後再び「位相補正」に戻すことが考えられますが、[Z]キーの長押しを使えば同じ作業をよりスムーズに行うことができます。



※ これらはJASON (JEOL Analytical Software Network) ver.2.2によるものです。

Microsoft、Windows は、米国Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Macintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。